

「全国造園フェスティバル」は、都市公園法施行 50 周年の記念事業として、造園の認知度向上や地域との連携強化などを主な目的にスタートしました。

フェスティバルは、「花と緑で美しい日本を！」をテーマに、10 月をコア月として全国の日造協会員が中心となり、それぞれの地域の公園や広場で造園の素晴らしさ、技術やセンスを広く知っていただこうと様々なイベントを実施しています。本号ではその一部を紹介します。

宮城

緑の相談所を初開設・造園力をアピール

支部では去る 10 月 21 日(土)に国営みちのく杜の湖畔公園にて毎年恒例行事となっている「造園フェスティバル 2017」を開催しました(会員 16 社 22 名参加)。

無料配布用に準備した花苗は 5 種 1,100 ポットと、本部より支給いただいた花の種 300 袋 4 種を準備、今回からは花苗の配布だけでなく「緑の相談コーナー」を設け、庭の手入れや庭造りのこと、球根の取扱いなど様々な質問への対応を行いました。

これまでは協会のパンフレットと花の苗を配布するだけでしたが、「緑の相談コーナー」を設けたことで来園者からは「手入れの時期や施工費用」「植物や球根の取扱いが分からず困っていたので話を聞けて良かった」、更に「日造協ってどんな団体ですか」というような声を聞くことができました。

当日は朝から雨、お客様は来るのだから



学会の目・眼・芽 第 88 回

協働と連携が拓く造園分野の未来

(公社)日本造園学会理事・千葉大学大学院園芸学研究科准教授 秋田 典子

2011 年 3 月の東日本大震災以降、学生たちとともに小さなコミュニティガーデンから大きなガーデンまで、様々な形で花と緑で被災地を応援する活動を続けてきた。

現場の活動の中では、当然、造園分野に関わる専門業者の方々や行政との協働が欠かせない。豊富な知識と高い技術を持つ造園分野のプロフェッショナルの方々には本当にお世話になり、あらゆる場面で助けて頂いた。

学生たちにとってもプロの仕事に身近に触れることができる貴重な機会となっていることは間違いない。この場を借りて、改めてお礼を申し上げたい。

この 6 年半を通じて、被災された方がどれだけ復興に向けて努力されてき

たか、支援に関わる専門家や技術者が復興のために心血を注がれてきたかを肌で感じてきた。

そうした中で、社会において造園分野が果たすべき役割や、今後の方向性について気付かされることが多々あった。そのうち 3 つをここで紹介したい。



1 つめは暫定的土地利用における造園分野の関与である。東日本大震災は甚大な被害をもたらしたため、被災から復興までに一定の期間が必要であった。

コミュニティガーデンのような暫定的土地利用を伴う活動は、傷ついた土地や人を癒すだけでなく、従前の土地利用から新たな土地利用への「繋ぎ」の機能を果たすうえで、重要な役割を果たした。

第 12 回 全国造園 日造協会員が 72 会場で

栃木 夢いっぱい 花いっぱい 咲けば愉快だ 宇都宮

「花と緑のフェスティバルうつのみや 2017」が宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会、宇都宮市の主催で 10 月 7 日(土)、宇都宮市の中心市街地にある宇都宮城址公園を会場に開催されました。

会場には物販展示コーナー、体験コーナー、フードコーナーの合わせて 31 のブースが設けられたほか、協議会活動 P R、寄せ植えコンテスト(一般部門、学生部門「中学生・高校生」、親子部門)、スタンプラリー、各種表彰、ステージイベントなどの催しが繰り広げられ、多くの来場者を楽しませておりました。

毎年多くの方が来場されておりますが、今年度の来場者は、20,000 名余を数え、昨年に増して盛況であったことがうかがえます。

造園業界からは、栃木県支部が(一社)栃木県造園建設業協会とタイアップ

し、コーナーを設け、草花の種とブルーベリーの苗木の配布を行いました。

当支部の「花と緑のフェスティバルうつのみや」への出展は、数年ぶりですが、参加会員が訪れた多くの方々に、苗木・草花の種の配布と合わせ、緑豊かなまちづくりの高揚を図るとともに、花と緑に親しみ、緑の大切さについて分かりやすく解説をしました。

当日は、開催時間にはお天気も回復し、青空の下、小さなお子さんからお年寄りまで、多くの方に造園ブースに立ち寄っていただき、大変好評でした。

栃木県支部では、今後もこのようなイベントを通して、県民の緑化意識の高揚と業界の P R に努めてまいりたいと考えております。

(栃木県支部事務局 荒井國雄)



広島 みどりの大切さ、造園の魅力の発信

広島県支部では、10 月 7 日(土)、8 日(日)、9 日(祝月)の 3 日間、県北・庄原市にある国営備北丘陵公園において、150 万本のコスモスが咲き誇る「花の広場」をメイン会場として、花の種・チラシの配布、ポスターの掲示等を行いました。

あわせて、地元自治体と多様な主体で構成される庄原観光いちばん協議会(花と緑のまちづくり部会)主催による「花と緑」をテーマとした催しを一堂に集め、

にぎわいを創出し「花と緑のまち・庄原」の魅力発信、認知度の向上を目的とした



今後は人口減少・少子高齢化により土地利用の需要が低下し、1 つの土地利用の目的が終わった後に、次の土地利用まで一定の期間が必要になることも多くなるだろう。

こうした場合に、1 つの敷地の管理放棄が近隣まで巻き込んで地区全体を荒廃させることがないように、造園分野が率先して積極的に暫定的な土地利用を行うことは、今後の社会において新たに求められる役割の 1 つであると考えられる。

2 つめは、地域住民による緑地の主体的な管理である。行政予算が縮小する中で土地利用需要低下に対応して緑地が増えてゆくと、更に管理コストが必要になる。

現状でも住民による街区公園等の管理は一部で行われているが、住民による公園や緑地の管理のモチベーションを高め、空間の質を高めるように機能させるためには、住民による管理が行

政管理の補完ではなく、むしろ管理の主体となるように、一定の責任や権限を住民側に委譲することがカギになると考えられる。そのためには市民への教育や支援が不可欠である。

3 つめは、まちづくりとの連携である。成熟社会におけるまちづくりは、居住空間における緑の質をいかに高めるかということとほぼ同義である。質の高い緑は居住空間に潤いをもたらすだけでなく、品格、アイデンティティ、安全性など、多岐にわたる機能を提供する基盤にもなる。

以上を踏まえると、今後の社会において造園分野が果たす役割は拡大することはあっても縮小することはないと考えられる。

ただし、これらの役割を果たすためには、地域・行政・他分野との協働、連携が不可欠である。造園分野をいかに社会に開かれたものとしてゆかが肝要になると言えよう。

フェスティバル さまざまなイベントを実施



『庄原さとやまガーデンフェスティバル 2017』に合わせ、全国造園フェスティバルを開催しました。

3日間とも晴天に恵まれ、8日は本公園の無料入園日でもあり約3万人の来園者でにぎわいました。

世界のトップガーデナー石原和幸氏が選ぶガーデンコンテストにはエキスパート部門8団体、エンジョイ部門7団体の出展があり、和洋さまざまなミニチュアガーデンに来園者も大変興味を持たれ、

多数投票されていました。

そのほかにも山陰・山陽花めぐり街道協議会によるPRブースやハーブ・エディブルフラワーを使い、お客様が自由に創作する「はこにわガーデン」も盛況でした。

来年も大型イベントに合わせ、多くの来園者に花と緑を“見て”、“作って”いただき、みどりの大切さ、造園の魅力の発信に微力ながら努めてまいります。

(廣島緑地建設株 大野 穂)

長崎 小学生対象に寄せ植え体験「小さな庭仕事」実施



長崎県では毎年秋に県内各地で開催されている「長崎県まちづくり総合住宅フェア」に合わせて「全国造園フェスティバル」を行っています。

例年、長崎市で行われている会場に参加していましたが、今年は9月30日(土)、10月1日(日)の両日に佐世保市「アルカスSASEBO」で国の中央イベント「スーパーハウジングフェア in 佐世保」と共同開催された「2017 長崎県住宅フェア in 佐世保」に参加しました。

私たち日造協のブースでは、パネル展示、みどりの相談コーナー、種子・球根の配布、小学生を対象にしたプランターの寄せ植え体験「小さな庭仕事」等を行いました。

これまで体験コーナーは一般来場者を対象にしていたのですが、2年前より会場周辺の小学校へイベントの内容と体験コーナーへの事前申込が告知されるようになってから多くの小学生が家族や祖父母とともに会場へ足を運ぶようになり、体験コーナーも大盛況で、参加した子供

達は、初めて自分で行うプランターの花の寄せ植え体験に大変喜んでいただきました。

このイベントは住宅に関するイベントで1日1回上棟式(餅まき)が行われます。餅まきが始まり出すとどこに居たのかと言うくらい、大勢の大人と子供が童心に返り、一生懸命に餅を拾っていました。

また、当協会の紹介コーナーでは、諫早湾干拓堤防道路の堤防部(約7.0km)にヒガンバナをボランティアで平成21年度より現在まで9回植栽し、2年後の彼岸には赤い花の帯が堤防道路の端から端まで繋がることなどを紹介し、私たち造園業が日頃どのような取り組みを行っているかアピールしてきました。

長崎県支部では、今後もこのようなイベントには積極的に参加をし、県民に業界のPRと若手担い手が入ってくれるような環境を作っていければと考えています。

(株)島原緑地建設 馬渡倫明)

第12回 全国造園フェスティバル 開催地一覧

都道府県	開催日	開催場所	所在地	参加企業
北海道	8/5	国営滝野すずらん公園	札幌市	㈱サンコー緑化、㈱横山造園、㈱園建、雪印種苗㈱、㈱北海道造園コンサルタント、横浜植木㈱北海道支店、㈱四宮造園、㈱コクサク、㈱南香園、㈱若本石庭
青森県	10/8 or 9	道の駅なみおかアップルヒル	青森市	㈱根城グリーン建設、環境緑花工業㈱、㈱香月園、㈱大昭造園、(南東北造園、(南三浦造園(弘前市)、(南三浦造園(五戸町)、㈱ヤマカツ、㈱山印造園土木
岩手県	10/14-15	岩手県立緑化センター	奥州市	支部会員
宮城県	10/8	国営みちのく杜の湖畔公園	川崎町	古積造園土木㈱、青葉造園㈱、青葉緑化工業㈱、アサヒグリーン工業㈱、㈱若沼造園土木、㈱石勝エクステリア東北支店、菅野造園㈱、㈱ガーデニ資地、小若井農牧㈱仙台緑化営業所、㈱芝玄、西武造園㈱東北営業所、㈱高島泉樹園、㈱千葉園芸、㈱東北造園、東北緑化環境保全㈱、東洋緑化㈱、㈱富田園、日本製紙総合開発㈱東北営業所、林造園㈱、星造園土木㈱、㈱富士グリーンテック東北営業所、㈱宮城県林業開発センター、宮十造園土木㈱、(南ミドリ企画、むつみ造園土木㈱仙台支店、㈱香楽園、桂造園土木㈱、むつみ造園土木㈱
秋田県	10/8-9	エリアなかいち「にぎわい広場」	秋田市	(南石川ガーデン、㈱小川緑化土木、㈱今野庭園、㈱寺崎造園、㈱出羽園、㈱富田造園デザイン、内外緑化㈱、㈱丸森造園、(南山村造苑、山形緑十字㈱、東北造園工業㈱、㈱翠紅園
山形県	10/18	双月集会所北児童遊園	山形市	㈱磐梯園、㈱環境緑建、㈱花喜、赤井田造園土木㈱、㈱諸井緑樹園
福島県	10/21	緑水苑	郡山市	㈱タナカ築庭、㈱植正園、㈱鶴志田造園建設
茨城県	10/7	偕楽園公園	水戸市	㈱緑造園土木、㈱一信造園土木、(南鈴木造園、(南)五月女造園、㈱増田造園、(南)真岡グリーンサービス、八洲造園㈱
栃木県	10/7	宇都宮市城址公園「花と緑のフェスティバルうつのみや2017」参画	宇都宮市	カネコ種苗㈱造園部、㈱カネサ園、㈱菊地造園土木、熊倉造園土木㈱、群馬康中国㈱、紅陵造園㈱、㈱山晃、㈱しみつ農園、新田造園土木㈱、前橋園芸㈱、㈱八木造園、㈱山梅、(南安中造園
群馬県	10/28	群馬県立都市公園 ぐんまの森	太田市	㈱八廣園、東洋ランテック㈱
埼玉県	11/14 3/2	埼玉県庁 県営大宮第二公園	さいたま市	㈱森田植物園ほか
千葉県	10/14-15 10/7 10/9 9/23 10/8-10	天沼弁天池公園 千葉県立行田公園 千葉県立幕張海浜公園 B ブロック 東松戸中央公園 21世紀の森と広場「松戸モリヒロフェスタ」	船橋市 千葉市 松戸市	藤木園緑化土木㈱ 林造園土木㈱ほか 小山ガーデン㈱、新都市緑化㈱、㈱新松戸造園、(株)石川園、(株)東松園 ㈱石川園、小山ガーデン㈱、新都市緑化㈱、㈱新松戸造園、(株)東松園、(株)ユアサ園ほか松戸市造園協会
東京都	5/27-28 10/15 10/21 10/7	馬事公苑 都立戸山公園 都立猿江恩賜公園 東京臨海広域防災公園	世田谷区 新宿区 江東区	㈱吉村造園、㈱岡野造園、㈱石勝エクステリア、杉本造園土木㈱、㈱岩城、㈱経田植物園 ㈱昭和造園 ㈱日比谷アメニス 西武造園㈱
神奈川県	10/21-25 10/30 11/4-5	都立日比谷公園 杉並区役所東棟 都立代々木公園 B 地区	千代田区 杉並区 渋谷区	アコラ造園㈱、㈱飛鳥、㈱石勝エクステリア、㈱稲亀緑花、(株)岩城、岩田造園土木㈱、王子木材緑化㈱、㈱大場造園、大森造園建設㈱、㈱岡野造園、㈱表裏樹園、加勢造園㈱、かたみ興業㈱、(株)桂造園、環境緑化㈱、㈱小関田中園、㈱松樹園、㈱昭和造園、杉本造園土木㈱、住友林業緑化㈱、㈱成樹苑、西武造園㈱、㈱西部緑化、㈱多摩ニュータウンサービス、東急グリーンシステム㈱、東光園緑化㈱、東武緑地㈱、東洋グリーン産業㈱、西村造園土木㈱、㈱ニチソー緑化、日産緑化㈱、日本製紙総合開発㈱、日本ハイウェイ・サービス㈱、箱根植木㈱、㈱日比谷アメニス、㈱経田植物園、㈱富士植木、藤東造園建設㈱、物林㈱、㈱豊和緑地、㈱増田造園、松村園芸㈱、㈱武蔵野種苗園、㈱柳島寿々喜園、㈱吉村造園、㈱理研グリーン
山梨県	9/29 10/21-22	甲府駅前広場 小瀬スポーツ公園	甲府市	箱根植木㈱、㈱昭和造園、(株)大場造園、東武緑地㈱ 東光園緑化㈱、加勢造園㈱ほか ㈱サカタのタネ、㈱三橋緑化興業、アライグリーン㈱、湘南造園㈱、横浜庭苑㈱、(株)小林園、横浜緑地㈱、㈱濱田園、田口園芸㈱、(株)きたむら園、難波造園㈱
長野県	10月11	川崎市緑化センター	川崎市	㈱石勝エクステリア
新潟県	9/29	甲府駅前広場	甲府市	㈱アセラ技建、㈱石和植木、㈱石原グリーン建設、㈱雲松園、(南)牧野造園、㈱帯金造園、(南)窪田造園、甲南緑化㈱、河野造園土木㈱、㈱芝保、(南)清水造園、(南)須田造園、中央造園土木㈱、辻緑化土木㈱、㈱津々美造園、㈱仲村造園、野尻造園建設㈱、富士観光開発㈱、富士急建設、㈱富士グリーンテック、㈱明徳園、山梨ガーデン㈱ほか
富山県	10月10月上旬	松本平広域公園総合球技場アルウィン 国営越後丘陵公園	安曇野市 長岡市	㈱奥原造園、㈱信州グリーン、(南)信州緑地ほか、県造協中信支部13社、松本市緑化協会他(長野県、松本市、TOY BOX(アルウィン指定管理団体))と共催 支部会員
富山県	10/18	富山県民会館	富山市	㈱飛鳥ガーデン、㈱大井仙樹園、(南)岡田造園、㈱久郷一樹園、㈱越路ガーデン、㈱柴崎農園、立山造園土木㈱、富山興業㈱、(南)中田造園、(株)西田幸樹園、西野造園園、㈱野々緑化、㈱福田園、(南山口造園
石川県	9/23 10/9 10月上旬	西部緑地公園 奥卯辰山健民公園 犀川緑地	金沢市	北造園㈱、㈱北陸グリーンサービス ㈱岸グリーンサービス ㈱松原造園、㈱庭芸社、(株)松村造園
岐阜県	10/1	岐阜メモリアルセンター 芝生広場	海津市	イビデングリーンテック㈱、㈱植倉造園、㈱丸光イトウ、㈱カミノ、㈱岐阜造園、(株)桑原造園土木、グリーンワークス㈱、昭和造園土木㈱、㈱立花園、㈱長楽園、(株)中日本ランドスケープ、㈱名和装苑、㈱庭寛
静岡県	10/14-15	アクト通り 及び 東ふれあい公園	浜松市	天龍造園建設㈱、㈱愛樹園、㈱特種東海フォレスト
愛知県	9/16	オアシス 21 銀河の広場	名古屋	岩間造園㈱、㈱エディングリーン、大島造園土木㈱、(株)加納造園、㈱鈴鍵、中電不動産㈱、東海緑化㈱、㈱豊田緑化苑、(株)豊橋園芸ガーデン、(株)中嶋造園土木、(株)松松園、フジ造園土木㈱、牧造園㈱、ヤハギ緑化㈱、(南)猿投観葉
三重県	11/11	三重県北勢中央公園	四日市市	㈱水谷造園、藤谷造園㈱、(株)カワサキグリーン、近藤緑化㈱、中村造園(有)
福井県	10月中旬	福井市内(詳細未定)	福井市	支部会員
滋賀県	10/14-15 10/29	大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチ周辺 荒神山公園	大津市 彦根市	㈱植木、(株)川下造園、(株)高木造園、(株)宝山園、(株)辻井造園、西村造園土木㈱、(株)花文造園土木、(株)吉田造園、(株)吉仁園 ㈱高木造園ほか
京都府	9/30	梅小路公園	京都市	支部会員ほか
大阪府	11/26	大阪市福島区役所	大阪市	関西植木㈱、㈱奈須造園、(株)タイキ、京阪園芸㈱、東光園緑化㈱関西支店ほか
兵庫県	11/3	神戸市立相楽園	神戸市	支部会員、(一社)神戸市造園協力会
奈良県	10/22	大和郡山市総合公園	大和郡山市	㈱ガーデンヤマト、榎原造園、(株)郡山共同園芸、(株)三和、(株)巽造園土木、(株)中造園、花佐造園㈱、(株)ヒロタ旭園ほか
和歌山県	10/8	和歌山マリーナシティイコラストリート	和歌山市	㈱井内屋種苗園、紀北造園土木㈱、㈱椿昌園、(南)光華園、児島造園、(株)志野造園土木、(株)松園、(南)玉井造園土木、(株)東陽園建設(有)なかや造園土木、(株)林造園石材、(株)山口造園土木、(株)松松園造園土木、(株)明松、吉田造園土木、(株)吉本園芸、(株)和歌山ナセリ
岡山県	10/21	西大寺緑花公園	岡山市	㈱小山庭苑、瀬戸内造園㈱、(株)武田園、(株)菱川グリーン、(株)山都屋
広島県	10/1	瀬野川公園	広島市	みずえ緑地㈱
広島県	10/7-9	国営備北丘陵公園	庄原市	廣島緑地建設㈱
鳥取県	10/16-17	米子市弓ヶ浜公園	米子市	山陰緑地建設㈱、(株)大山緑化建設、(株)ナガトウ建設
島根県	11/6	くにびきメッセ	松江市	(南)足立農園、出雲土建㈱、(南)小立造園、グリーン産業㈱、(株)庭の川島、(株)福島造園、松浦造園㈱、(株)もちだ園芸、(南)みどり建設、(南)鹿島緑化
山口県	10/8 10/21-22	一の坂川交通交流広場「山口みどりのフェスタ」 海峡ゆめ広場	山口市 下関市	㈱多々良造園、(株)山口松樹園ほか ㈱森芳楽園、(株)彦島造園、(株)下関植木
徳島県	10/15	あすたむらんど徳島	板野町	支部会員ほか、徳島県造園建設業協会
香川県	10月 10月 10/7	国営讃岐まんのう公園 高松市立仏生山公園 高知市中央公園	まんのう町 高松市 高知市	㈱藤田萬壽園、西国グリーン産業㈱、吉本緑地建設㈱ほか 支部会員 支部会員
高知県	10/7	高知県立池公園	高知市	支部会員
愛媛県	10/14 10/15 10/7-9 10/29 10/14-15	愛媛県立とべ動物園 国営海の中道海浜公園 福智しろく花公園 遠賀川川敷「遠賀川わくわく夢フェスタ」 白野江植物公園	砥部町 福岡市 直方市 北九州市	支部会員 支部会員 田丸造園建設㈱ 内山緑地建設㈱ほか
佐賀県	10/8 10/22 10月下旬	玉島川河川敷「鮎まつり」 金立公園コスモス園 佐賀空港道路広場	唐津市 佐賀市	㈱鶴松造園建設 (株)鶴池造園、(株)永楽園、(株)江里口造園、(株)久保造園、(株)古梅園、(株)天山造園、(株)葉隠緑化建設
長崎県	9/30- 10/1	アルカス SASEBO	佐世保市	㈱琴花園、(株)岩永造園、(株)浮羽園、(南)老沼造園、(株)島原緑地建設、(株)タメナガ造園、(株)庭建、(株)朝長緑化建設、(株)中溝緑化建設、中村造園㈱、(株)松田久花園、八江グリーンポート㈱、(株)山本造園土木ほか
熊本県	10/1	水前寺江津湖公園 広木地区	熊本市	支部会員、(一社)熊本県造園建設業協会、(一社)熊本市造園建設業協会
大分県	10/3	ハーモニーランド	日出町	支部会員
宮崎県	11/5	山形屋四季ふれあいモール	宮崎市	支部会員
鹿児島県	10/21-22	かごしま県民交流センター	鹿児島市	支部会員
沖縄県	10月	沖縄県営公園	県内各所	有楽造園総合造園、(南)浦西造園、(株)沖繩庭芸、全秀建設㈱、(南)新生造園、(株)島原農園、(南)西崎緑地開発、(南)西原農園、(株)平成造園、(南)みね造園、(株)沖繩グリーンメンテナンス、(南)海邦造園、(南)桂植木、(株)グリーンテクトーバル、(南)樹苑、中部緑化土木㈱、(株)東海造園、(南)前川グリーン土木、(株)丸和グリーンサービス、(南)宮里農園、(株)仲嶺造園土木、(南)ナカムラ造園土木、(株)仲本造園土木、北部造園土木㈱、(株)ダイユウ建設、おもと造園ほか

鹿児島県
ふるさと自慢

来年の大河ドラマ「西郷どん」ゆかりの地名勝「知覧武家屋敷庭園」でロケも



知覧武家屋敷庭園

鹿児島県が輩出した偉人と
言えば、大久保利通、天璋院

篤姫、西郷隆盛が思い浮かぶと思います。

2018年1月からNHK大河ドラマで、「西郷どん」が放映されます。



岩屋公園桜並木

先日、南九州市知覧町にある知覧武家屋敷庭園でロケがありました。

当日、南九州市知覧町にある知覧武家屋敷庭園でロケがありました。

当日、南九州市知覧町にある知覧武家屋敷庭園でロケがありました。



川辺二日市

指定された七つの庭園があり、「西郷どん」で見られるかもしれません。



知覧町には第二次世界大戦の時、「西郷どん」のように命を懸けて、知覧基地から多くの特攻隊員が飛び立って行きました。

知覧特攻平和会館には、特攻隊員の遺品や関係資料が数多く展示してあります。

また、南九州市川辺町に岩屋公園があります。

春になると国道225号線から岩屋公園に通じる桜並木と公園内の桜は満開になり、桜の下では花見を楽しむ人で賑わっています。

岩屋公園には宿泊用のロッジやキャンプ場もあります。



さつまあくまき本舗梅木の「灰汁巻き」



地鶏のたたき

県内で一番最初に開かれる市は、川辺二日市です。230余年も続く伝統市で、約400の露店が並び、ちんどん行列や猿回し、バナナのたたき売りなど楽しさいっぱいです。

鹿児島の特産品である灰汁巻き（あくまき）も売られています。

五月五日の端午の節句に作られるのが昔からの習慣でしたが、現在では一年中味わえます。

鹿児島は畜産も盛んで、お肉が美味しいですが、その中でも焼酎と相性の良い鳥刺し（地鶏のたたき）はお薦めです。

夏はシャーベット状のスライス鳥刺しもあります。

「どうぞ鹿児島へおじゃったもんせ!!」

沢津橋千菜（株沢津橋造園）

日造協新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
フジ造園土木(株) 成田 伸男 名古屋市港区十一屋 2-4 ☎ 052-383-2989 FAX 052-383-2990	

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(株)千葉園芸 千葉 正和 仙台市宮城野区新田 5-1-6 ☎ 022-355-6718 FAX 022-355-6719	

事務局の動き

【10月】

- 2月・植栽基盤診断士認定委員会
- 3月・広報活動部会
- 4月・造園・環境緑化産業振興会代表者会議
- 5月・運営会議
 - ・総支部長・支部長合同会議
 - ・花と緑のつどい
- 6月・合同会議メンバー全国都市緑化はちおうじフェア視察
 - ・優秀施工者国土交通大臣顕彰表彰式
- 11月・新規制度等部会
- 12月・建設業適正取引推進機構第2回評議員会
- 13月・女性活躍推進部会勉強会 ～10/14
- 15月・第34回全国都市緑化はちおうじフェア閉会式

- 17月・財政基盤強化部会
- 24月・「2018 新年造園人の集い」打合せ会議
- 26月・登録造園基幹技能者講習 ～10/27
- 27月・運営会議
 - ・ひろげよう 育てよう みどりの都市全国大会
- 31月・関東・甲信総支部交流会

【11月】

- 6月・北海道総支部・支部交流会
- 7月・北海道総支部と開発局等との意見交換会
 - ・広報活動部会
- 9月・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～11/11
- 10月・北陸総支部と北陸地方整備局との意見交換会

- 14月・担い手3法と人材育成確保、社会保険未加入対策説明会
 - ・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～11/15
- 15月・中国総支部と中国地方整備局との意見交換会
- 16月・建専連と建政部等との意見交換会
 - ・建専連全国大会
- 20月・近畿総支部と近畿地方整備局との意見交換会
 - ・近畿総支部・支部交流会
- 24月・四国総支部、支部交流会
 - ・技能五輪全国大会 ～11/27
- 25月・技術委員会（技能五輪部会）
- 28月・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 29月・中部総支部・支部交流会

委員会等の活動

- 財政基盤強化部会
財政基盤の強化と今後の取り組み等について審議した。(10/17)
- 新規制度等部会
「公園・緑地樹木管理士」に関わる研修会について審議した。(10/11)
- 担い手育成・確保推進部会
働き方改革への対応策及び「担い手育成・確保推進」に関わるスケジュール管理ルールについて審議した。(10/10)
- 女性活躍推進部会
イクメン企画及び造園建設業の入門の活用方法について審議。また、枝折り戸技術講習会を京都で開催した。(10/13-14)

編集後記 全国都市緑化はちおうじフェアに出向き、全国造園フェスに参加。「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会にも参加し、日比谷公園ガーデニングショーに出演し、そして街路樹シンポジウムの聴講など行事目白押しの我が造園業界。多くの知識を得、そして酒も美味しく、まさに「馬肥ゆる秋！」



自宅の庭づくり

震災の年に家を買いました。
このマイホームにも狭い庭スペースがあります。

造園会社就職したものの、営業部なので現場に出たことはありませんが、自力での庭づくりにチャレンジしています。

最初の1年は構想で終り。

2年目は手先の器用な父親にウッドデッキを製作してもらい、さらに隣地境界の目隠しに木製のフェンスを造りました。（こちらかなり父に手伝ってもらいました。）



3年目にはなんとなく畑コーナーを造り、樹木も植え始めました。

実家などから予定外の本を譲り受けたりして、なんだかゴチャゴチャになりました。

レンガを敷きたいな～と思って、耐火レンガを譲り受け敷き並べてみました。

とにかくただやってみて、なんとも中途半端な庭になっていきました。

◆

4年目は停滞期。ひたすら雑草取りとわずかな家庭菜園を楽しみました。



5年目となった昨年、いよいよ



シンボルツリーのオリーブ

よやる気に火がついて、最初から考え直そう！ということになりました。

まず、レンガを全部撤去し、改めてデザインを考え、不足分のアンティーク耐火レンガをネットやホームセンターで購入して、ちまちま貼りました。

レンガのアプローチが出来たので、花壇と畑の縁取りに取りかかりました。

少し変わった素材を求め、私の実家・茨城の大型ホームセンターまで足を延ばしたことも…。

生長してきた樹木を移植して、グラントカバー類も少しずつ増やして、なんとか形になってきました。



今年はウッドデッキの塗り替えと畑の改良を予定しています。

まだまだ成長途中の我が庭です。庭づくりに完成はありませんね…



レンガ敷き&花壇



ウッドデッキ

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！